

大型バスの電気装置のリコールについて

平成 22年11月4日

リコール届出番号 外-1713

平成22年11月4日、UDトラックス株式会社に輸入車両を供給したボルボ・ロジスティクス・コーポレーション・ジャパン株式会社が、下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。

ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 原動機のスタータ用電気配線のクランプの向きが不適切なため、原動機の振動等により当該電気配線が損傷することがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が短絡し、発火するおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、クランプの向きを点検し、不適切なものは、クランプを新品に交換するとともに向きを適切にします。また、配線被覆に損傷のあるものは、補修します。

3. 対象車両

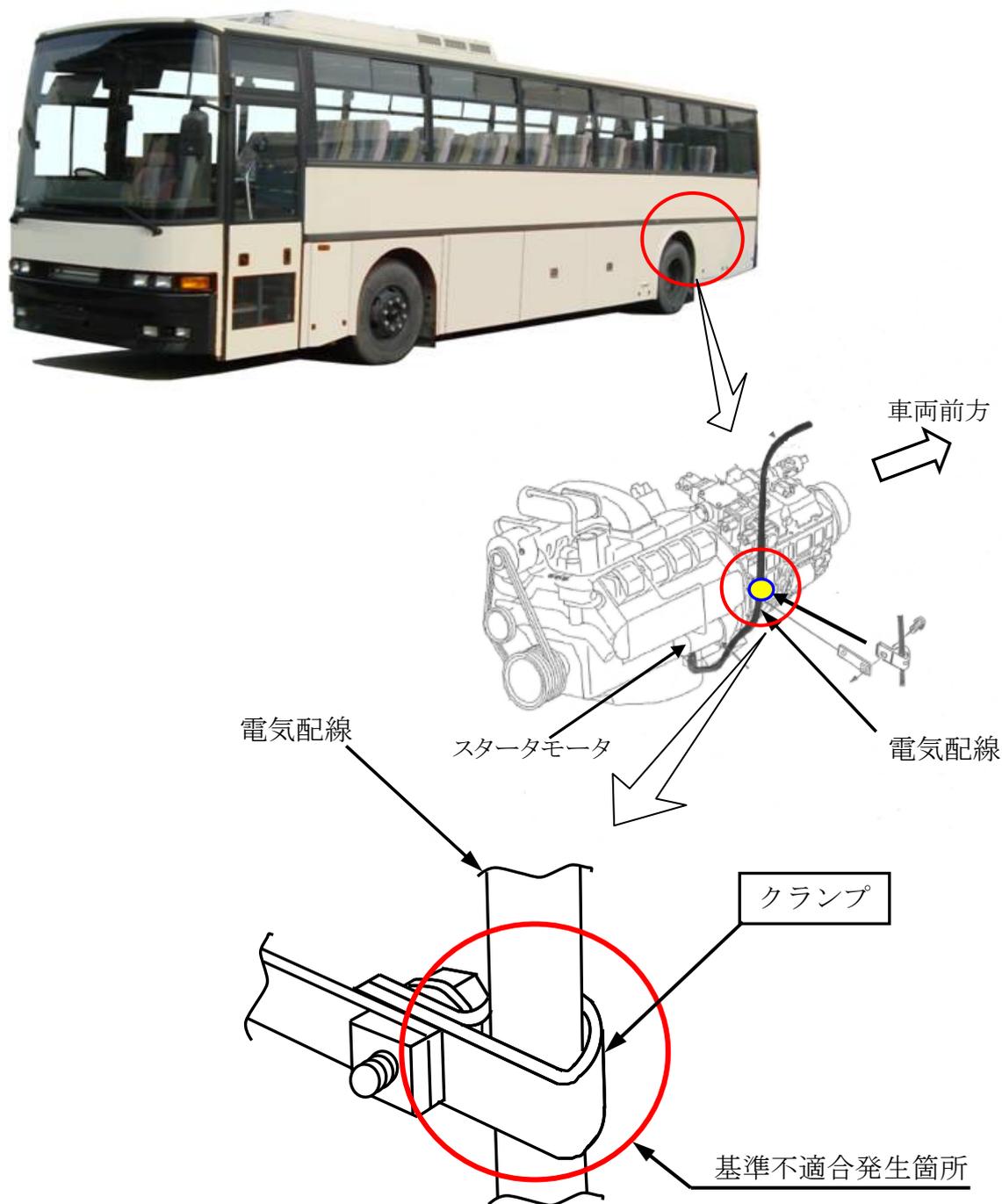
- ボルボ・ロジスティクス・コーポレーション・ジャパン株式会社が輸入し、UDトラックス株式会社が販売している大型バスが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
不明	JA520RAN-00003～JA520RAN-00007 平成 7年11月28日～平成 8年10月31日	5
	JA530RAN-00002～JA530RAN-00154 平成 9年 2月24日～平成11年11月23日	150
計2型式	製作期間の全体の範囲 平成7年11月28日～平成11年11月23日	合計155台

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

改善箇所説明図



原動機のスタータ用電気配線のクランプの向きが不適切なため、原動機の振動等により当該電気配線が損傷することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が短絡し、発火するおそれがある。

改善の内容

全車両、クランプの向きを点検し、不適切なものは、クランプを新品に交換するとともに向きを適切にする。また、配線被覆に損傷のあるものは、補修する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：クランプに、白色ペイントを塗布する。